

四国高校選手権大会 優勝速報 ~ ソフトボール ~

17日に行われた四国総体でソフトボールが2年連続6度目の優勝を果たしました。
18日の愛媛新聞に掲載された記事を掲載しますので、ご覧ください。

ソフトボール

松山工(男子) 2年連続V

【男子決勝 高知工—松山工】7回裏松山工無死、敵失の間に小椋(51)がホームに生還し3—2でサヨナラ勝ちを決める—松山中央公園



全力疾走徹底 サヨナラ

2—2で迎えた最終回の松山工の攻撃。先頭打者の小椋が真ん中に甘く入った初球を打ち返したゴロは、二塁手と右翼手のエラーを誘って外野を転々。勝利を確信した仲間が突顔で迎える中、小椋はダイヤモンドを全力で駆け抜け、2年連続の優勝を決めた。

小椋は、準々決勝ではメンバー入りしていたものの打席には立てなかった。悔しさはあったが「自分の役割はチームに貢献すること。できることをやろうと思った。」

中堅で先発した決勝、七回の打席に立ったときも、後につなげるため「まずは出塁」を意識した。打った瞬間はアウトが頭をよぎったが、チームで徹底していた全力疾走を懸命に実行し、決勝点につなげた。

（試合に）出られていなかった分、気持ちが入っていた」と速藤監督は目尻を下げた。だが、サヨナラ勝ちの功労者は満足していない。「バッティングの内容はまだまだ改善できる。細かいミスも修正する」とチームが目指す。松山工・八木投手（準決勝で無安打無得点試合を達成。決勝も2失点完投）「高知工には練習試合で打たれることが多かったが、強気に攻めて、守備に頼ろうと思っていた。得意のドロップボールで押すことができた」

ソフトボール

▽松山中央公園運動広場ほか
▽男子準決勝
高知工 1111100004
同豊 0000000004
徳島科技

松山工 200000000x020

▽松山工
(徳)安芸 佐々木
(松)八木 久保
▽本塁打 船原 (松)

▽決勝
高知工 1000010002
松山工 0002000001x03
(高)片岡 下山
(松)八木 久保
▽二塁打 西森 (豊)

(松山工は2年連続6度目の優勝)

『松山工(男子) 2年連続V』

2019年06月18日(火)付 愛媛新聞
(掲載許可番号: d20190618-002)